

(記載例 1)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

監督員  
国土交通技官 〇〇 〇〇 殿

主任技術者  
〇〇測量株式会社  
〇 〇 〇 〇

仕様書と作業現場との不一致について (通知)

業務名	地震防災対策強化地域 高精度三次元測量	業務期間	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日
業務地区	〇〇〇〇〇地区	業務量	精密基盤傾動観測〇km 標示板設置〇点 水準点水平位置決定〇点

上記の業務について、仕様書と作業現場の状況とが下記のとおり不一致なので、契約書第14条第1項により通知する。

記

現地調査の結果、次のとおりである。

1. 一等水準点 001-260、一等水準点 001-244 が亡失している。
2. 二等水準点 2917-1 がある敷地に建物建設が予定されており、建設後は標尺の設置が困難になると思われる。

責任者：〇〇 〇〇 XXX-XXXX-XXXX  
担当者：〇〇 〇〇 XXX-XXXX-XXXX

(記載例 2)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

監督員  
国土交通技官 〇〇 〇〇 殿

主任技術者  
〇〇測量株式会社  
〇 〇 〇 〇

仕様書と作業現場との不一致について (通知)

業務名	国土調査に伴う基準点測量	業務期間	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日
業務地区	〇〇〇〇〇地区	業務量	新設〇点

上記の業務について、仕様書と作業現場の状況とが下記のとおり不一致なので、契約書第 14 条第 1 項により通知する。

記

現地調査の結果、次のとおりである。

1. 現地には普通埋石に適した場所がないので、普通埋石 1 点を地下埋石としたい。

責任者：〇〇 〇〇 XXX-XXXX-XXXX  
担当者：〇〇 〇〇 XXX-XXXX-XXXX